

令和8年度 事業体系図

所属名: 農林水産課

(単位:千円、人)

款	項	目	事業番号	事業名	新規・継続等の別	当初予算額	前年度当初予算額	前々年度決算額	一般職人数	会計年度職員人数
2 総務費	1 総務管理費	12 物価高騰対策費	1684	自給飼料生産緊急支援事業	新規	3,300			0.1	0.0
			小計				3,300	0	0	0.1
5 農林水産業費	1 農業費	2 農業総務費	134	一般事務	継続	6,611	6,305	5,184	0.1	0.0
			小計				6,611	6,305	5,184	0.1
5 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	145	農業振興対策事業	継続	1,610	1,908	11,109	0.4	0.0
			162	担い手育成対策事業	継続	6,642	6,926	18,562	1.5	0.0
			164	野菜振興対策事業	継続	70,099	33,326	12,529	0.4	0.0
			801	有害鳥獣対策事業	継続	8,781	11,308	7,760	0.3	0.0
			899	果樹振興対策事業	継続	34,502	59,571	37,472	0.2	0.0
			1138	経営所得安定対策推進事業	継続	4,842	4,842	4,090	0.4	1.7
			1139	農業後継者育成対策事業	継続	29,713	34,939	33,044	0.6	0.0
			1237	農地中間管理事業	継続	5,252	5,042	5,770	0.4	1.0
			1412	農業研修事業	継続	15,049	17,094	3,744	0.1	2.5
			1443	スマート農業推進事業	継続	5,365	18,971	1,050	0.1	0.0
			小計				181,855	193,927	135,130	4.4
5 農林水産業費	1 農業費	4 畜産業費	175	畜産振興対策事業	継続	20,881	22,843	13,681	0.4	0.0
			小計				20,881	22,843	13,681	0.4
5 農林水産業費	1 農業費	5 農地費	178	一般事務	継続	1,472	1,630	545	0.1	0.0
			180	しっかり守る農林基盤整備事業	継続	15,900	12,742	12,646	0.5	0.0
			184	土地改良事業の推進	継続	91,539	90,393	3,121	0.3	0.0
			185	国営かんがい排水事業	継続	19,531	20,206	17,431	0.4	0.0
			1298	ため池防災減災対策推進事業	継続	7,350	12,300	6,783	0.5	0.0
			1424	農業水路等長寿命化・防災減災事業	新規	5,000	15,000	0	0.4	0.0
			1442	農村整備事業	新規	0	5,300	0	0.0	0.0
			1566	田越・笠見地区浸水対策事業	継続	48,522	250,253	879	0.3	0.0
			1577	日本型直接支払交付金事業	継続	159,092	161,569	150,077	0.8	0.0
小計				348,406	569,393	191,482	3.3	0.0		
5 農林水産業費	2 林業費	1 林業総務費	194	一般事務	継続	406	2,027	6,747	0.1	0.0
			小計				406	2,027	6,747	0.1
5 農林水産業費	2 林業費	2 林業振興費	201	林業振興対策事業	継続	38,876	38,993	30,177	0.5	0.0
			小計				38,876	38,993	30,177	0.5
5 農林水産業費	3 水産業費	1 水産総務費	203	水産振興対策事業	継続	33,852	37,260	9,021	0.4	0.0
			小計				33,852	37,260	9,021	0.4
10 災害復旧費	1 農林水産業災害復旧費	1 現年発生農地災害復旧費	667	現年発生農地災害復旧事業	継続	20	20	3,966	0.2	0.0
			小計				20	20	3,966	0.2

10 災害復旧費	1 農林水産業災害復旧費	2 現年発生農業用施設災害復旧費	354	現年発生農業用施設災害復旧事業	継続	20	20	13,280	0.2	0.0
			669	現年発生農業用施設小災害復旧事業	継続	900	900	863	0.1	0.0
			小計			920	920	14,143	0.3	0.0
10 災害復旧費	1 農林水産業災害復旧費	3 現年発生林道災害復旧費	668	現年発生林道災害復旧事業	継続	20	20	2,589	0.1	0.0
			小計			20	20	2,589	0.1	0.0
船上山発電所管理特別会計			1244 等	船上山小水力発電所施設管理運営事業	継続	26,457	26,679	21,282	0.2	0.0
			小計			26,457	26,679	21,282	0.2	0.0
所属合計						661,604	898,387	433,402	10.1	5.2

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1684	事業名	自給飼料生産緊急支援事業		事業区分	■新規 □継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	12 物価高騰対策費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,300	3,000	0	0	0	300		
前年度予算額					前々年度決算額			
トータルコスト	4,036	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	物価高騰に伴う自給飼料を生産する酪農家が自ら生産する飼料作物の種子代の一部を緊急支援し負担を軽減することにより、酪農経営の維持と農地の活用及び環境保全を図る 【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業】			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
自給飼料生産緊急支援事業	物価高騰に伴う自給飼料を生産する酪農家が自ら生産する飼料作物の種子代の一部を緊急支援し負担を軽減することにより、酪農経営の維持と農地の活用及び環境保全を図る 補助率：10/10 ・琴浦町酪農組合 種子購入代金上昇分 3,300千円	3,300	国3,000、 町300	
	合計	3,300		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	134	事業名	一般事務	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	2 農業総務費
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成		
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

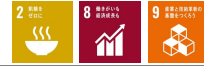
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	6,611	0	173	185	0	6,253	施設利用料	
前年度予算額	6,305	(比較：306)			前々年度決算額		5,184	(比較：1,427)
トータルコスト	7,347	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	農林水産課の管理する公園等施設の維持管理を行う。			
前年度からの改善点等	【施設管理費等】 大父木地親水公園外灯修繕工事 218千円			
前年度評価で整理した取り組みの内容	○白鳳館は社会教育課が斎尾廃寺跡等の整備と併せて活用することを検討していることから、施設改修等を行う際は協議を行う必要がある。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
施設管理費等 【改善】	地域改善対策事業で建設した施設（11施設）の火災保険料の支出 【白鳳館、ふれあい交流会館、大父木地親水公園の管理運営費】 ・消耗品費等 387千円 ・光熱水費等 1,473千円 ・修繕料 653千円 ・委託料等 1,468千円 ・保険料 282千円 【公用車（4台）の維持管理費等】 ・借上料 1,464千円 ・保険料 106千円 ・燃料費 350千円	6,183	単町	大父木地親水公園外灯修繕 218千円
県山村振興協議会負担金	県山村振興協議会負担金	68	単町	
農業経営基盤強化資金利子補給事業費補助金	農業経営基盤強化資金を借り受けた、当該認定農業者等の利子負担の軽減を図る。	347	県1/2、町1/2	
果樹等経営安定資金利子補助金	台風などの自然災害により、収入が著しく減少した農家が借りた経営安定資金の利子負担の軽減を図る。 事業主体：JA	13	単町	
合計		6,611		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	145	事業名	農業振興対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成		
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

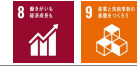
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,610	0	735	0	0	875		
前年度予算額	1,908	(比較：△298)			前々年度決算額		11,109	(比較：△9,499)
トータルコスト	4,554	一般職人件費		2,944 (0.4人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地元の農林水産物を県内外の消費者に広くPRし、農林水産業の生産・販売拡大を促進する。 意欲のある農業経営体の取り組みを支援することで、地域農業の振興と活性化を図る。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	○近年の猛暑や集中豪雨、有害鳥獣被害の拡大など営農におけるリスクにさらされている状況にあり、加入促進の必要がある。 ○国、県が目指す有機農業の計画に沿って取組の拡大を検討する必要がある。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
中部発！食のパラダイスフェスティバル負担金	令和8年開催予定の食のパラダイスフェスタの運営費を負担する。	361	単町					
環境保全型農業直接支払交付金	有機農業などに取り組む農業者団体に対して、交付金の支払いを行う。 【有機農業の取組】 実施主体：東伯有機米生産部 取組面積：700a 補助金額：14,000円/10a×700a	980	国1/2、県1/4、町1/4					
農業経営収入保険制度加入促進事業補助金	収入保険加入に係る事務費賦課金を助成することにより、農業者の加入促進を図る。 助成額：新規4,500円、継続3,200円	269	単町	加入件数の減（新規：△15件、継続：△28件）				
合計		1,610						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主要品目の年間販売額 (梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、スイカ、繁殖和牛、酪農、グランサーモン)	令和5年度	52.5億円		目標値	53.4億円	54.3億円	55.2億円	56.1億円
				実績値	56.5億円	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	162	事業名	担い手育成対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

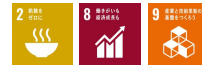
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	6,642	0	4,206	0	0	2,436		
前年度予算額	6,926	(比較：△284)			前々年度決算額		18,562	(比較：△11,920)
トータルコスト	17,682	一般職人件費		11,040 (1.5人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地域農業の中核を担う認定農業者等の担い手農業者の活動支援及び育成を図る。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	○認定農業者協議会の活動など、担い手の活動の支援を行うとともに、担い手農家の取組み支援を強力に進める必要がある。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
ともに目指す！担い手強化支援事業費補助金	旧：がんばる農家プラン事業 意欲ある農業者等を育成し、地域農業の振興、活性化を図る。 米プラン（個人：2年目）トラクター導入12,619千円×1/2			6,310	県2/3、町1/3			
経営改善計画審査会報償金	認定農業者の認定に必要な農業経営改善計画の認定審査会審査員の報償金 2,000円×7人×3回			42	単町			
東伯地区農業士会負担金	農業後継者の育成を目的とする東伯地区農業士会の活動に係る経費を負担する。 負担金8千円×5名			40	単町			
認定農業者協議会活動補助金	認定農業者で組織する協議会の活動を支援することで、担い手農業者の確保と育成を進める。			250	単町			
合計				6,642				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
認定農業者数（法人等含む）	令和2年度	129人（団体）	ともに目指す！担い手強化支援事業費補助金	目標値	130人（団体）	130人（団体）	130人（団体）	-
				実績値	129人（団体）	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	164	事業名	野菜振興対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業		次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	70,099	0	51,695	463	0	17,941	ともに目指す！産地強化支援事業他市町負担金	
前年度予算額	33,326	(比較：36,773)			前々年度決算額		12,529	(比較：57,570)
トータルコスト	73,043	一般職人件費		2,944 (0.4人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	価格差補給交付金の資金造成を行い、市場での販売価格が市場平均価格を大幅下回った場合の生産農家が受ける打撃の軽減を図る。 急激な気象状況の変化に左右されにくい施設園芸作物の振興を図り、農業経営の安定化と農業所得の向上を図る。 がんばる地域プランに基づき琴浦ブロックリー産地の生産拡大に取組み、地域農業の活性化を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○令和4年度から事業実施している琴浦ブロックリーがんばる地域プランの実現に向けて、生産規模拡大など販売額の向上に取組む。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
ともに目指す！産地強化支援事業費補助金	令和3年度に策定した琴浦ブロックリー地域プランの実現に向けた取り組みを支援する。 事業期間：令和4年度～令和8年度（最終年度） 事業費上限：1億円（5年間） ソフト事業：9,887千円×2/3 ハード事業：20,787千円×1/2	16,985	県11,872、 負担金 463、町 4,650	
県ブランド野菜価格安定対策事業負担金	春キャベツ、春・夏ネギの販売価格が産地（農協）の平均価格を下回った際、その差額を補填するための負担金。 負担率：交付金造成額の15% 春キャベツ交付資金 182,710円×15% 春ネギ交付金資金 1,844,400円×15% 夏ネギ交付金資金 939,000円×15%	445	単町	
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業補助金	鳥取県が開発した鳥取型低コストハウスの導入を支援し、高収益野菜等のハウス栽培品目の生産拡大を図る。 西瓜ハウス13棟 39,410千円×2/3	26,274	県21,894、 町4,380	
産地生産基盤パワーアップ事業補助金	農作業の効率化によるコスト削減や高付加価値作物の栽培など、収益力向上に取り組む産地の生産体制の強化や集出荷機能の改善を支援する。 遮光資材購入（4件） 2,167千円×1/2	1,084	県10/10	
ハウス強靱化による施設園芸加速化対策事業	ハウス強靱化による施設園芸加速化対策事業補助金 ミニトマト（2棟）足継補強@205,000円×1/2	103	県10/10	
新たな園芸品目育成事業 【新規】	県育成イチゴ品種生産拡大：1件 生産・技術向上対策（寒冷紗・液肥混入機） 750千円×1/2 産地規模拡大支援（高設ベンチ・散水施設） 1,050千円×1/2	900	県2/3、町 1/3	旧：戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業 ※旧事業から品目を拡充し新規事業として実施
主要園芸品目生産振興事業 【新規】	ブロックリー、白ねぎ等主要園芸品目の生産拡大・設備導入の費用の一部を助成することにより生産振興を図る。 【産地発展成長】 ミニトマト（選果場計量器機能向上）1件 36,500千円×1/2 【産地規模拡大】 白ねぎ（機械導入、調整場整備）5件 6,514千円×1/2 ブロックリー（機械導入）1件 226千円×1/2 【基盤整備・土地改良】 ブロックリー（梨園整備）1件 550千円×2/3 【野菜暑熱対策】 白ねぎ（エアコン）1件 265千円×1/2 ミニトマト（遮光資材）9件 4,377千円×1/2	24,308	県16,144、 町8,164	旧：園芸産地活力増進事業、ブロックリー産地の広域化・生産強化総合対策事業 ※上記事業を統合して新規事業として実施

合計				70,099				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主要品目の年間販売額 (梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、スイカ、繁殖和牛、酪農、グランサーモン)	令和5年度	52.5億円		目標値	53.4億円	54.4億円	55.2億円	56.1億円
				実績値	56.5億円	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	801	事業名	有害鳥獣対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	8,781	0	5,438	0	0	3,343		
前年度予算額	11,308	(比較：△2,527)		前々年度決算額		7,760	(比較：1,021)	
トータルコスト	10,989	一般職人件費		2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	イノシシ、シカ、ヌートリアなど町内に生息する有害鳥獣から農作物への被害を防ぐ。 射撃練習や捕獲活動に対して助成を行うことで、有害鳥獣の捕獲に従事するものを支援する。 クマ等の有害鳥獣による人身被害を防ぐため、関係機関と連携し、安全確保、周知、体制整備等を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○有害鳥獣による被害を効果的に防ぐために、侵入防止柵と合わせたわなの設置や、集落単位での対策を引き続き進める必要がある。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
鳥獣被害総合対策事業補助金 (県) 侵入防止柵設置	有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、2名程度で設置する侵入防止柵の購入経費の一部を助成する。 電気柵の設置：7箇所(古長、法万、田越、八橋、太一垣、西宮、坂ノ上) ・事業費 計2,345千円 ・補助率 2/3 (県1/3, 町1/3)	1,564	県1/2、町1/2	被害防止柵の設置箇所の増加 R5 2箇所(電柵 2,800m) R6 5箇所(電柵 1,960m、金網柵 360m、WM柵 1,667m) R7 6箇所(電柵 4,300m、WM柵 660m) R8 7箇所(電柵 5,570m)
鳥獣捕獲者確保環境整備事業補助金(県)射撃環境改善事業 【改善】	有害捕獲に従事する有資格者の技術の向上を図るため、射撃練習に要する費用の一部を助成する。 ・補助金額：10千円×11人×2/3=74千円	74	県1/2、町1/2	県の要綱に合わせ、補助対象経費(上限：1人7,500円)の廃止
クマ類総合対策事業(国) 【新規】	緊急銃猟制度への適切な対応のため、実施体制整備や必要な装備などを整える。 ・緊急銃猟経費(日当、保険、弾代) 220千円 ・出没防止対策(見回り、追払い、煙火等消耗品) 138千円 ・ヘルメット等の装備品の購入 186千円 ・普及啓発活動(学習会、広報等) 100千円	644	国521、町123	
ほうきのジビエ推進協議会負担金 【廃止】		0	単町	令和7年度の協議会の取り組みは少なく、加入するメリットが無いため、令和8年度は協議会から脱退予定
鳥獣被害対策協議会運営補助金	協議会運営補助金 10千円	10	単町	
鳥獣被害総合対策事業(県)有害鳥獣捕獲業務補助金	有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、猟友会等によるカラスの捕獲活動を支援する。 ・事業費 535千円 ・補助率 2/3 (県1/3、町1/3 ※県上限単価：1,000円/時間)	357	県60、町297	
消耗品費	消耗品費(捕獲確認消耗品等) 10千円	10	単町	
鳥獣被害対策実施隊活動費	イノシシによる農作物被害等を防ぐため、夏から秋にかけて行う捕獲活動を支援する。 ・自主的な捕獲活動分 400千円(2,000円×200回) ・町の要請による追払い、捕獲分 80千円(2,000円×40回)	480	単町	
鳥獣被害防止総合対策	個体数が増加しているイノシシ、ニホンジカの農作物等への被害を防ぐため、捕獲活動に対して報償金を交付する。	2,938	国10/10	【変更点】 R8よりヌートリアとハクビシンが国

事業(国) 緊急捕獲活動支援事業 【改善】	イノシシ(通年)成獣:7千円×326頭、幼獣:1千円×62頭 ニホンジカ(通年)成獣:7千円×70頭、幼獣:1千円×0頭 【追加】ヌートリア(通年)1千円×103匹 【追加】ハクビシン(通年)1千円×1匹			交付金の対象鳥獣として追加予定 【年間捕獲頭数】 イノシシ R3:207頭、R4:162頭、R5:325頭、R6:351頭、R7:165頭 ニホンジカ R3:33頭、R4:34頭、R5:66頭、R6:47頭、R7:53頭				
ツキノワグマ等遭遇回避総合対策事業(県)	住宅地や農地周辺でイノシシなどのわなに誤って掛かってしまったツキノワグマを安全に処分するため、麻酔による不動化や薬殺を専門業者への委託等。 ・委託料(出沒時安全対策)180千円 ・委託料(見回り、追い払い)75千円 ・手数料(動物駆逐用煙火研修)11千円	266	県1/2、町1/2					
鳥獣被害総合対策事業(県)捕獲奨励金 【改善】	有害鳥獣による農作物等の被害を防ぐため、捕獲に対して奨励金を交付する。 イノシシ(猟期外のみ)成獣:5千円×137頭、幼獣:11千円×56頭 ニホンジカ(通年) 猟期外:15千円×38頭、猟期:7,500円×32頭 ヌートリア(通年)3千円×103匹 アライグマ(通年)15千円×1匹 ハクビシン(通年)3千円×1匹	2,438	県969、町1,469	【変更点】 R8よりハクビシンが県奨励金の対象鳥獣として追加予定 【年間捕獲頭数】 イノシシ R4:162頭、R5:325頭、R6:351頭、R7:165頭 ニホンジカ R4:34頭、R5:66頭、R6:47頭、R7:53頭 ヌートリア R4:125匹、R5:106匹、R6:135匹、R7:41匹				
合計		8,781						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
鳥獣害による農産物被害額の減少	令和5年度	2,091千円		目標値	1,850千円	1,637千円	1,461千円	-
				実績値	1,110千円	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	899	事業名	果樹振興対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成		
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

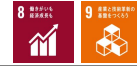
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	34,502	0	33,994	0	0	508		
前年度予算額	59,571	(比較：△25,069)			前々年度決算額		37,472	(比較：△2,970)
トータルコスト	35,974	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	梨等の果樹産業活性化のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入と、それに伴う生産基盤の整備を図る。ワイナリー事業と併せて町内における醸造用ぶどうの栽培を推進するため、農業法人に対してぶどう園整備に係る経費を支援する。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	〇果樹生産者の経営安定や産地の維持発展のために継続した支援を行う。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
柿ぶどう等生産振興事業補助金	ぶどうまたは柿の栽培経費を支援し、生産振興を図る。 育成促進対策：苗木奨励金 94千円/10a×108a (県1/2、町1/2) 生産基盤整備対策：灌水施設 3,078千円×1/3 (県) 果樹棚 14,310千円×1/2 (県) 新植苗木 2,910千円×1/2 (県)	10,652	育成促進対策：県1/2、町1/2 生産基盤整備対策：県10/10					
果樹カメムシ類緊急防除支援事業費補助金【廃止】		0	県10/10	鳥取梨生産振興事業（気象災害に強い施設整備）に統合				
鳥取梨生産振興事業費補助金	「二十世紀」「新甘泉」等の生産拡大を図るため、省力化栽培技術対策、出荷・価格安定対策等を総合的に支援する。 【鳥取梨生産振興事業費補助金】 23,850千円 気象災害に強い施設設備 多機能防災網掛け替え (30a) 4,950千円×1/3 (県) 新甘泉特別対策 生産基盤対策 網掛施設 2,500千円×3/4 (県) 防除機械3台 27,100千円×3/4 (県)	23,850	県10/10	戦略的スーパー園芸団地整備事業については実施希望なし				
合計		34,502						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主要品目の年間販売額 (梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、スイカ、繁殖和牛、酪農、グランサーモン)	令和5年度	52.5億円		目標値	53.4億円	54.3億円	55.2億円	56.1億円
				実績値	56.5億円	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1138	事業名	経営所得安定対策推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,842	0	4,800	0	0	42		
前年度予算額	4,842	(比較：0)			前々年度決算額		4,090	(比較：752)
トータルコスト	12,992	一般職人件費					会計年度職員人件費	5,206 (1.7人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	農業生産への意欲向上や米の生産調整等を目指し、経営所得安定対策交付金事業等の事務を行う琴浦町農業再生協議会の活動に対し補助を行うことにより、地域農業の振興と活性化を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	<p>○令和7年度が水田収益力強化ビジョンの中間年度となることから、目標の達成に向けて取組みを進める。</p> <p>○畑作物への転換が図られた水田のうち今後、水稲作付計画のないほ場については、湛水管理による交付対象水田の継続または畑地化を進める。</p> <p>○事業推進団体である琴浦町農業再生協議会については、国や県の事業において事業実施主体として求められる役割が増えており、機能強化を図るための支援が必要。</p>			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
経営所得安定対策等推進事業費補助金	農業再生協議会が行う経営所得安定対策等交付金事業の事務に必要な補助金を交付する。	4,800	県10/10	
琴浦町農業再生協議会事務経費	農業再生協議会事務に係る経費の一部を支払う。	42	単町	
	合計	4,842		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1139	事業名	農業後継者育成対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

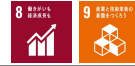
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	29,713	0	23,658	100	0	5,955	ふるさと未来夢基金繰入金 100千円	
前年度予算額	34,939	(比較：△5,226)			前々年度決算額		33,044	(比較：△3,331)
トータルコスト	34,129	一般職人件費					会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	新規就農者の就農初期の営農経費負担軽減を図り、就農定着を支援する。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	○就農計画の策定過程において、支援事業が実際に活用可能か、新規就農者の聞き取り・関係機関との連携をさらに深めていくことが必要。(支援事業適用要件の確認、支援事業の説明など) ○就農定着となるよう就農計画の実績を確認するなど、関係機関と情報共有しながら支援を行う。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
経営開始資金・次世代人材投資資金	①経営開始資金 経営開始する新規就農者支援(最長3年) 継続 1,500千円×3人 新規 1,500千円×3人 新規 750千円×1人 ②次世代人材投資資金 次世代を担う農業者を指す経営開始直後の新規就農者支援(最長5年※～R3年度採択分まで) 継続 1,200千円×2人	12,150	国10/10					
就農応援交付金	新規就農者に初期運転資金、基盤整備費、生活費等として活用できる交付金を交付し、経営の早期安定を支援する。 新規100千円×12か月 1名 継続100千円×12か月 3名 100千円×10か月 1名 100千円×9か月 1名	6,700	県2/3、町1/3					
就農条件整備事業費補助金	新規就農者の就農初期の機械等整備を助成し負担軽減を図る【補助金額】 11,142千円×1/2 【取組者5名】 管理機、動噴、薬液散布システム、倉庫ハウス、移植機、土壌消毒器	5,571	県2/3、町1/3					
農業青年会議活動助成事業補助金	活動費補助金 100千円 農業青年会議が行う遊休農地への景観形成作物栽培による地域活性化の取組を支援する。	100	基金10/10					
親元就農促進支援交付金	農業経営の継続的発展を図り、将来、地域農業の担い手として定着することを目的とし、親元就農を促進する。2年間。 品目：畜産、芝、梨、スイカ等 継続 100千円×12か月×1名 100千円×3ヶ月×1名 新規 100千円×12か月×2名	3,900	県2/3、町1/3					
産地主体型就農促進支援事業費【改善】	産地が主体的に後継者確保・育成する仕組みとして、新規就農希望者を支援する体制づくりを支援する。 新規就農者確保活動支援事業 PR資材作成、産地体験会開催経費 200千円×4生産部 産地受入条件整備事業 研修用梨園設備整備 984千円×1/2	1,292	県1/2、町1/2	確保支援事業に取組む生産部数の増 3生産部→4生産部 農業研修生の研修梨園の整備費を助成する。				
合計		29,713						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
新規就業者数(累計)	-	-		目標値	30人	35人	35人	35人
				実績値	52人	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1237	事業名	農地中間管理事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係				
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成				
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

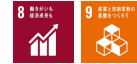
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	5,252	0	2,580	0	0	2,672		
前年度予算額	5,042	(比較：210)			前々年度決算額		5,770	(比較：△518)
トータルコスト	11,352	一般職人件費		2,944 (0.4人)		会計年度職員人件費		3,156 (1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	担い手農家への農地集積による農地の有効利用と遊休農地化の防止を目指す。また、土地改良事業や地域計画の見直しなどを実施し、今後の地域農業に関する話し合いを継続して行う。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	○令和6年度に策定した地域計画の実効を図るため、集落単位で農地集積・基盤整備に向けた取組みを進める。 ○地域計画の見直しを農業委員と連携して取組むとともに、円滑な事業実施が図れるよう取組みを進める。							
細事業等	内容			予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点		
機構中間保有地再生活用事業	担い手の農地集積を推進するため、荒廃農地を農地中間管理機構が行う再生事業に対して補助を行う。再生後は近隣で耕作する担い手が当該農地を借受けて耕作する。 ○令和8年度予定(金屋・尾張(2か所)・八橋・赤碕の地区224aを予定)			5,160	県1/2、町1/2			
農地中間管理事業業務委託事業	農地中間管理機構から農地中間管理事業等に関する業務の委託を受け、農地の貸借、調整などの事務を行う。			92	単町			
合計				5,252				
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地域計画の担い手への農地利用の集積・集約化	令和6年度	-	機構中間保有地再生活用事業	目標値	-	43.9%	46.9%	50%
				実績値	40.8%	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1412	事業名	農業研修事業		事業区分	□新規 ■継続		
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係				
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費		
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり				① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

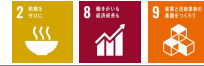
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	15,049	0	0	660	0	14,389	施設使用料 660千円	
前年度予算額	17,094	(比較：△2,045)			前々年度決算額		3,744	(比較：11,305)
トータルコスト	22,111	一般職人件費			736 (0.1人)		会計年度職員人件費	6,326 (2.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	琴浦町で就農を希望する者に農業研修を実施し、移住定住の促進及び新規就農者の確保を図る。							
前年度からの改善点等	新規就農者確保の取り組みに新たに1生産部が参加する。							
前年度評価で整理した取り組みの内容	〇引き続き生産部役員等と連携・協議して、ミニトマト以外の研修受入れ体制の拡充を図り、新規就農者の確保に努める。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
農業体験ツアー実施に要する経費	農業研修生募集に関連して、琴浦町での就農を具体的にイメージできるように、農業体験や現地相談会の開催に必要な経費 ・農業移住体験ツアー (2泊3日×2回) ・農業実践体験ツアー (6泊7日×2回) 報償費 160千円 寝具借上、保険料等 75千円 補助金 150千円	385	単町(特別交付税)					
研修生募集に要する経費	県外での就農相談会、移住定住相談会への出張に要する費用 ・農業研修生等募集イベントへの出展に要する職員等旅費 195千円 ・出展に係る消耗品費等経費 72千円 ・ブース使用料、webページによる求人募集 880千円	1,147	単町(特別交付税)	県外就農相談会に参加する生産部の増 3生産部→4生産部				
農業研修に要する経費【就農研修型】	地域おこし協力隊制度を利用し、町内での就農を目指して研修を行う者に対する経費 ・研修生受入に伴う指導農家報償金 240千円 40千円/月×6月 ・研修に要する消耗品費 150千円 ・研修生公用車リース料・保険料等 1,019千円 ・研修生宿泊施設の家賃光熱水費等経費 478千円 ・農業研修委託料 630千円	2,517	単町(特別交付税、一部施設使用料を充当)					
農業研修に要する経費【企業研修型】 【改善】	地域おこし協力隊制度を活用し、町内で醸造用ぶどうの栽培やワイナリー産業での就農を目指して研修を行う者に対する経費。 企業研修型：2人 内訳 活動費(車両リース代、研修用資材等)：4,000千円 2,000千円×2人 報償費(給与、期末・勤勉手当)：7,000千円 3,500千円×2人	11,000	単町(特別交付税)					
合計		15,049						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主要品目の年間販売額 (梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、スイカ、繁殖和牛、酪農、グランサーモン)	令和5年度	52.5億円		目標値	53.4億円	54.3億円	55.2億円	56.1億円
				実績値	56.5億円	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1443	事業名	スマート農業推進事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

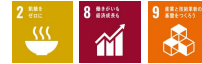
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	5,365	0	2,909	800	0	1,656	ふるさと未来夢基金繰入金 800千円	
前年度予算額	18,971	(比較：△13,606)			前々年度決算額		1,050	(比較：4,315)
トータルコスト	6,101	一般職人件費			736 (0.1人)		会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	IoTやAIなどの農業新技術を導入し、新規就農者や研修生等の技術習得支援に活用することで、新規就農者等の技術習得支援及び町内生産者の栽培管理技術向上を図る。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	○琴浦町スマート農業推進協議会において、ミニトマトの栽培管理研修を行い、担い手の確保や収量の増加を図る。 ○スマート農業機械の社会実装を促進するため、各生産部において実演会など導入検討を行う。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
町スマート農業推進協議会運営費補助金	本町のさらなる農業振興を図るため、ロボット・AI・ICT等の先端技術を活用したスマート農業の拡大普及を推進する。 スマート農業技術研修ハウスにおいて、CO2施用の実証など、栽培管理データの分析を行う。	1,000	単町					
スマート農業社会実装促進事業補助金	スマート農業の社会実装を促進するために、スマート農機等の導入経費の支援を行う。 事業費：8,729千円×1/2 事業主体：認定農業者（個人）2人 内容： ・自動操舵付トラクター（ブロッコリー・スイカ）7,711千円×1/2 ・自動操舵システム（ブロッコリー）1,018千円×1/2	4,365	県2,909、基金800、町1,656					
合計		5,365						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スマート農業に新たに取り組む経営体数の累計	-	-	スマート農業社会実装促進事業補助金	目標値	5件	10件	12件	13件
				実績値	9件	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	175	事業名	畜産振興対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 畜産業費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	20,881	0	8,397	0	0	12,484		
前年度予算額	22,843	(比較：△1,962)			前々年度決算額		13,681	(比較：7,200)
トータルコスト	23,825	一般職人件費					会計年度職員人件費	0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	畜産物の品質向上や家畜の増産等に向け、畜産農家に各種補助金および奨励金等を交付し、畜産振興を推進する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○生産者が減少、高齢化している中で、現頭数の維持・拡大に向けた生産基盤の強化や経営の安定を図る必要がある。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
琴浦町和牛振興計画推進事業費補助金	和牛の担い手等が導入計画に基づき繁殖牛を増頭する際の購入経費への支援をする。 補助率：1/2 JA鳥取中央(20頭)：10,000千円 【歳入】鳥取和牛振興対策事業費補助金 6,667千円	10,000	県2/3、町1/3	
琴浦町酪農振興関係事業(担い手施設整備事業)	生産性向上に必要な設備等を酪農の担い手に貸し付けるため、大山乳業農協が取得する費用の一部を助成する。 補助率1/6(参考：県直接補助1/3) 事業費7,367千円×1事業者×1/6(牛舎増改築) ※事業費上限5,000千円	834	単町	
琴浦町乳用牛品評会出品奨励事業	乳用牛品評会出品にかかる経費を助成することにより、出品農家の負担軽減と畜産振興、改良促進を図る。 補助額 3千円/頭 ・琴浦町酪農組合：3千円×50頭	150	単町	
鳥取県畜産推進機構負担金	鳥取県畜産推進機構への負担金 ・101,100円	102	単町	
琴浦町肉豚経営特別対策事業	肉豚の枝肉価格が低迷した場合に交付される肉豚経営安定対策事業の生産者積立金の負担を軽減し養豚農家の経営安定維持を図る。 ・補助率1/6 ・JA鳥取中央：400円×1/6×1,500頭	100	単町	
琴浦町畜産経営第三者継承事業	第三者継承に取り組む新規就農者の就農時及び就農から5年以内に必要な機械、施設整備及びリース料を助成する。 補助率1/2(県1/3、町1/6) ・事務所整備、車両取得、牛舎賃借料 5,190千円×1/2 【歳入】鳥取県畜産経営第三者継承事業 1,730千円	2,595	県2/3、町1/3	
町優良種牝牛造成奨励事業	優良牝子牛の導入・保留を行い、生産基盤の安定と畜産振興を図る。 ・町内繁殖農家：150千円/頭×1頭	150	単町	
全日本ホルスタイン共進会出品奨励事業【廃止】		0		R7単年度事業のため廃止
琴浦町和牛品評会出品奨励事業	和牛品評会出品にかかる経費を助成することにより、出品農家の負担軽減と畜産振興、改良促進を図る。 ・JA鳥取中央和牛生産部：3千円/頭×22頭	66	単町	
琴浦町酪農生産基盤拡大強化事業	本町の若手酪農家の人材育成やスキルアップのため、先進地視察など研修にかかる費用を助成し、生産基盤の拡大及び強化への支援をする。 ・補助率：1/2	500	単町	

	・琴浦町酪農組合：先進地視察 400千円 研修会開催 100千円								
琴浦町自給飼料生産緊急支援事業				0		事業No1684：自給飼料生産緊急支援事業（物価高騰対策事業）にて計上			
琴浦町肉用牛肥育経営安定特別対策事業	牛肉の枝肉価格が低迷した場合に交付される肉用牛肥育経営安定対策事業の生産者積立金の負担を軽減し肥育農家の経営安定維持を図る。 補助率：1/6 ・肉専用種：17,000円×1/6×1,350頭 ・交雑種：17,000円×1/6×100頭 ・乳用種：18,000円×1/6×350頭			5,159	単町				
琴浦町畜産暑熱対策事業	酪農・養豚・養鶏施設の遮熱対策をすることにより、生産性低下を防ぐことを目的に補助金を交付する。 遮断熱シートの設置×2件 7,346千円×1/6			1,225	単町				
合計				20,881					
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
主要品目の年間販売額 (梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、スイカ、繁殖和牛、酪農、グランサーモン)	令和5年度	52.5億円		目標値	53.4億円	54.3億円	55.2億円	56.1億円	
				実績値	56.5億円	-	-	-	
その他事業内容									

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	178	事業名	一般事務	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進		

2 当該年度の事業費

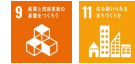
(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,472	0	0	0	0	1,472		
前年度予算額	1,630	(比較：△158)			前々年度決算額		545	(比較：927)
トータルコスト	2,208	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理に必要な体制を整える。 国や関係機関に対する情報収集、国等へ協議会等より陳情・要望を行い事業実施の実現に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○土地改良事業の実施及び施設の適正な維持管理に必要な体制を整える必要がある。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
負担金	<ul style="list-style-type: none"> 農業農村整備事業推進協議会負担金 24千円 農道台帳管理負担金 136千円 中部土地改良事業推進協議会負担金 16千円 農業土木技術職員研修費 33千円 県土地改良団体連合会負担金 513千円 	722	単町	
事務費等	土木関係に必要な事務費 <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費(技術図書等) 31千円 手数料(CAD保守等) 119千円 客土土質試験委託料 600千円 	750	単町	客土土質試験委託料 600千円 東伯浄化センターに存置してある客土について、年数が経過していることから今後の事業に活用するため、現在の状況を把握するため。
合計		1,472		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	180	事業名	しっかり守る農林基盤整備事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	15,900	0	5,160	1,900	0	8,840	地元負担金	
前年度予算額	12,742	(比較：3,158)			前々年度決算額		12,646	(比較：3,254)
トータルコスト	19,580	一般職人件費		3,680 (0.5人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	圃場整備から約30年経過し、施設も耐用年数を迎え、老朽化が著しい状況となっている。また、近年では異常気象により農道及び水路が被災し作付けが出来ない事象も増えている。農林業を営むうえで必要となる農林基盤の改修・補修等を行うことで、災害に強い地域作りを目指し、農林業の振興を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○基盤整備を行ってから30～40年が経過しており、今後も農業用施設等の老朽化が進行している。 ○本事業を活用し計画的に農業用施設の維持を図る必要がある。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
農業用施設改修工事	老朽化した水路、舗装の修繕及び、林道等の法面修繕を行う。 上伊勢地区樋門改修工事、宮場地区舗装修繕工事、金屋地区水路修繕工事、林道本谷線修繕工事、保地区水路修繕工事、槻下地区水路修繕工事、大父地区水路修繕工事、槻下地区水路修繕工事、大父地区法面修繕工事	11,000	農道：県40%、町40%、地元20% 水路：県50%、町35%、地元15%	
しっかり守る農林基盤補助金	地元集落や担い手農家が実施する工事に対して補助を行う。 東伯町土地改良区 1件（福永地区水路修繕）	1,900	水路：県50%、町35%、地元15%	
琴浦町営農林業基盤整備事業	受益者自ら補修等を行うための経費を助成する。 ・原材料費 1,500千円 ・機械代 1,500千円	3,000	県1000、町2000	
合計		15,900		

その他事業内容

今年度工事予定写真





槻下地区水路修繕工事



大父地区水路修繕工事



槻下地区水路修繕工事



大父地区法面修繕工事

R7年度施工済み写真



林道本谷線水路等復旧工事（着工前）



林道本谷線水路等復旧工事（完成後）

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	184	事業名	土地改良事業の推進		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	91,539	0	34,784	12,588	3,600	40,567	基幹水利施設 北栄町負担分 6,574千円 船上山発電所管理特別会計繰入金 6,000千円 土地改良施設 他目的使用料 14千円	一般補助施設整備等事業(ダム施設機器更新事業) 一般補助施設整備等事業(県営基幹水利施設更新事業)
前年度予算額	90,393	(比較：1,146)			前々年度決算額		85,322	(比較：6,217)
トータルコスト	93,747	一般職人件費			2,208 (0.3人)		会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的(なんのために)	土地改良施設の維持管理を行う各団体を支援し、施設の適切な維持・管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○国営造成施設を適正に管理することで、受益地に農業用水を安定的に供給して農業生産性の向上を図るとともに、併せてダム下流における洪水被害や土砂流出防止、河川流況の安定化により、環境や国土の保全を図る。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
基幹水利施設管理事業	ダム、畑かん等の国営造成施設の操作委託を行う。 委託先：東伯地区土地改良区連合	52,179	国1/3、県1/3、北栄町6,574、町10,818	
ダム施設機器更新事業負担金	経年劣化したダム施設機器の更新に係る経費を負担する。 事業実施主体：東伯地区土地改良区連合	2,240	町債 2,000、町 240	
県営基幹水利施設更新事業(機械設備)負担金	経年劣化したダムの機械施設の更新工事(県営)に係る負担を行う。	1,866	町債 1,600、町 266	
土地改良区運営補助金	東伯町土地改良区、赤碓町土地改良区の運営に係る経費に対する補助金交付。	26,449	単町	
東伯地区改良区連合賦課金補助金	東伯地区農業水利事業に係る受益者賦課金に対する補助金交付。 事業主体：土地改良区	2,793	単町	
東伯地区土地改良区連合運営補助金	国営造成施設の維持管理を行っている東伯地区土地改良区連合の運営に係る経費に対する補助金を交付する。	6,000	船上山発電所管理特別会計繰入	
その他事務費等	受託管理者会議出席のための旅費、消耗品の支出を行う。	12	単町	
合計		91,539		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	185	事業名	国営かんがい排水事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	19,531	0	14,601	1,839	0	3,091	管理体制施設管理事業 北栄町受託分(1,839千円)	
前年度予算額	20,206	(比較：△675)			前々年度決算額		17,431	(比較：2,100)
トータルコスト	22,475	一般職人件費			2,944 (0.4人)		会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	国営・県営の水利施設の多面的機能発揮のため、支援強化に関する経費の助成を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○土地改良施設の適切な管理方法について検討するとともに、多面的機能の発揮に向けた検討を行い、地域が該当施設を適切・有効に活用できるような管理体制づくりを推進する。 ○土地改良施設の多面的機能の発揮に向けた地域への普及啓発活動を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
その他事務費等	国営造成施設管理体制推活動における消耗品、負担金。	63	単町	
国営造成施設管理体制整備補助金等	国営・県営水利施設の調整水槽やパイプライン等の維持管理経費、多面的機能(消防水利等)の推進活動費等の助成を行う。 事業主体：東伯地区土地改良区連合	19,468	国1/2、県1/4、北栄町1,839、町3,028	R7事業費 20,143千円 → R8事業費 19,468千円
	合計	19,531		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1298	事業名	ため池防災減災対策推進事業	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	7,350	0	314	0	6,200	836		公共事業等債
前年度予算額	12,300	(比較：△4,950)			前々年度決算額		93	(比較：7,257)
トータルコスト	11,030	一般職人件費		3,680 (0.5人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	農村地域の防災力向上を図るため、ため池の防災・減災対策を行い農林業の振興に資するとともに、ため池の有する社会生活基盤としての機能の確保を図り、住民の安心と安全に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○松谷第3ため池改修工事の令和9年度完了に向けて県、地元との調整を図る。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
県営ため池 工事に係る 町負担金	松谷第3ため池改修(県営)に伴う市町村負担金。 国：55% 県：34% 町：11% R8年度事業費 63,000,000円 負担金 6,930,000円	6,930	町債 6,200、町 730	
ため池監視 システム通 信料	防災重点ため池の監視システム通信費等。 町内7箇所	420	国1/2、県 1/4、町1/4	
合計		7,350		

【ため池監視システム通信料】

町内7箇所設置(防災重点ため池)



別所第1ため池に設置されたカメラ

【県営ため池工事に係る町負担金】

松谷第3ため池改修工事



その他事業内容

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報


事業番号	1424	事業名	農業水路等長寿命化・防災減災事業		事業区分	■新規 □継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり				① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり		

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	5,000	0	3,480	250	800	470	地元負担金 (250千円)	一般補助施設整備等事業債
前年度予算額	15,000	(比較：△10,000)			前々年度決算額		0	
トータルコスト	7,944	一般職人件費		2,944 (0.4人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	農業用施設等の長寿命化防災減災対策を行い、農業農村基盤としての機能の確保を図り、農業振興に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
逢東・下大江・杉下地区水路等改修工事	水路改修及び樋門設置に係る工事請負費 逢東・下大江・杉下地区 5,000千円	5,000	県3,480、 町債800、 地元負担金250、町470	
	合計	5,000		
その他事業内容	<p>【逢東・下大江・杉下地区】</p> <p>劣化が進み機能に支障がでている施設の更新を行い、災害対策のほか効果的な灌漑や用水を確保し農地の生産性を維持する。</p>  <p>遮水壁が破損し、木材で応急処置をしている状態。ハンドル操作が効かないため水量の調節ができない。また増水時は操作者の危険が伴う。</p>			

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1566	事業名	田越・笠見地区浸水対策事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	48,522	0	0	0	48,500	22		緊急自然災害防止対策事業債
前年度予算額	250,253	(比較：△201,731)			前々年度決算額		879	(比較：47,643)
トータルコスト	50,730	一般職人件費		2,208 (0.3人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	田越・笠見地区の浸水対策を実施し、農地及び周辺地域の湛水被害の防止を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○田越・笠見地区浸水対策事業の実施計画ロードマップ (R3年度～R8年度) に基づいて、年次的に浸水対策を実施する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
田越地区農業用排水路改修工事 【新規】	田越地区の農業用排水路の改修工事を行う。 2工区：やばせこども園～近藤牛舎 3工区：近藤牛舎～山陰道	39,060	町債	
地盤変動影響調査業務委託料	田越・笠見地区の放水路新設及び水路改修工事に伴う地盤変動影響調査(事前・事後)を行う。 田越地区放水路新設工事(事後調査1軒) 笠見地区農業用排水路改修工事(事前・事後調査1軒)	8,462	町債、町22	
支障物移転補償費	田越地区放水路新設工事(水路完成後) 中国電力ネットワーク株式会社 電柱1本移転	1,000	町債	
	合計	48,522		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	1577	事業名	日本型直接支払交付金事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	1 農業費	目	5 農地費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			③ 農地・農業用施設の保全活動の推進			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	159,092	0	119,243	0	0	39,849		
前年度予算額	161,569	(比較：△2,477)			前々年度決算額		150,077	(比較：9,015)
トータルコスト	164,980	一般職人件費		5,888 (0.8人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動を支援する。							
前年度からの改善点等								
前年度評価で整理した取り組みの内容	○地元や役員に対して地元説明会を開催し、事務負担軽減のため計画書作成など支援を行う。 ○町内広域活動組織のさらなる広域化を推進することで、事業の継続を図る。							
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点				
その他事務費等	ファイル等事務用品の購入	100	単町					
多面的機能支払交付金	活動組織へ交付金を交付することで、地域の共同活動を支援し、地域資源を適切に保全するとともに、担い手農家への農地集積を後押しする。 活動組織数：42組織	88,986	国1/2、県1/4、町1/4					
中山間地域等直接支払交付金	農業生産条件が不利な中山間地域において、農地荒廃を防いだ地域に交付金を交付する。 集落協定数：38協定(予定)	70,006	国1/2、県1/4、町1/4					
合計		159,092						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
取組面積	令和7年度	1,158ha	多面的機能支払交付金	目標値	1,158ha	1,154ha	1,155ha	1,155ha
				実績値	1,154ha	-	-	-
取組面積	令和7年度	709ha	中山間地域等直接支払交付金	目標値	681ha	739ha	739ha	739ha
				実績値	739ha	709ha	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	194	事業名	一般事務	事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係		
予算区分	款	5 農林水産業費	項	2 林業費	目	1 林業総務費
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり		⑥ 企業のデジタル化と多様な働き方・雇用対策の推進			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	406	0	0	0	0	406		
前年度予算額	2,027	(比較：△1,621)			前々年度決算額		6,747	(比較：△6,341)
トータルコスト	1,142	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	負担金や、土地及びシステム使用料を支出し、林業振興の推進を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
治山林道協会負担金	治山林道協会へ負担金を支払う。	10	単町	
消耗品費	林道工事における積算・施工・調査・測量・設計に関する図書の購入等を行う。	18	単町	
天神川流域林業活性化センター負担金	中部地域の森林整備と木材生産を促進し、林業振興にかかる活動を行う団体へ負担金を支払う。	10	単町	
林業労働者福祉向上推進事業負担金	林業労働者の共済年金掛金及び年末一時金支給の助成に対する負担金を公益財団法人鳥取県林業担い手育成財団へ支払う。	146	単町	
鳥取県森林クラウドシステム使用料	クラウド上にある森林簿、林地台帳などを使用するため、使用料を支払う。 年間利用料：198,000円	198	単町	
国有林野土地使用料	船上山国有林野内に設置した砂防ダム及び堰堤敷の貸付料を支払う。	6	単町	
県緑化推進委員会負担金	緑の募金関連事業を行う県緑化推進委員会へ負担金を支払う。	18	単町	
森林クラウド林地台帳更新支援業務負担金		0	単町(特別交付税)	林地台帳データの更新業務(定期的実施)
合計		406		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	201	事業名	林業振興対策事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業 次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

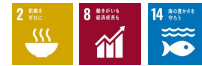
	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	38,876	0	949	19,841	0	18,086	森林環境譲与税繰入金 19,840千円 森林環境譲与税基金利子 1千円	
前年度予算額	38,993	(比較：△117)			前々年度決算額		30,177	(比較：8,699)
トータルコスト	42,556	一般職人件費		3,680 (0.5人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	森林の適正な管理の推進、間伐搬出量の増加を図る。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○放置竹林や未間伐の森林が増えないよう、適正管理のための支援を継続して行うことが必要。 ○林業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
緊急間伐実施事業費補助金	間伐材搬出に要する経費の一部を助成する。(補助単価 1,000円/m ³) 中部森林：1,000円×5,800m ³ =5,800千円 造林公社：1,000円×3,300m ³ =3,300千円 個人事業者：1,000円×200m ³ =200千円	9,300	基金10/10	
林業再生事業費補助金	森林整備を促進するため、別宮地内の森林内作業道の整備に要する経費の一部を助成する。 事業量：W=2.5m、L=220m 補助金額：525千円×1/2=263千円 【歳入】林業再生事業費補助金 263千円	263	県10/10	
森林整備担い手育成総合対策事業費補助金	雇用条件改善事業 琴浦町在住の新規林業労働者の雇用に係る健康保険、介護保険、厚生年金に要する経費を最大1年間分一部助成する。 中部森林組合：1名×400千円×1/2=200千円 【歳入】森林整備担い手育成総合対策事業費補助金 99千円	200	県1/2(99)、基金101	
経営管理意向調査、集積計画作成等委託業務	森林管理の意向について、森林所有者に確認を行う業務を委託する。対象地区：竹内、宮木 令和7年度に森林管理の意向確認を行った森林(八反田、法万、宮場、森藤、別所、松谷)のうち、市町村へ管理を希望する森林について経営管理の委託を行うため、現地調査を委託する。	8,278	基金10/10	意向調査進捗 H31：倉坂、福永、尾張 R2：田越、湯坂 R3：野田、公文、鋤、梅田、籠津 R4：大杉 R5：太一垣、光好、三保 R6：笠見、美好 R7：八反田、法万、宮場、森藤、別所、松谷 R8：竹内、宮木 ※意向調査の翌年度に現地調査を行う
竹粉碎機共同利用事業	北栄町と共同利用する竹の粉碎機のメンテナンスに掛かる費用の1/2を負担金として北栄町に支払う。	50	基金10/10	
森林環境保全支援事業補助金 【新規】	・間伐の推進 普通林 14ha 14ha×749,210円×7% 保安林 6ha 6ha×749,210円×12% ・作業道整備 保安林 1.2km 1.2km×2,470,000円×12%	1,630	基金10/10	効率的な森林施業を推進するため、除間伐・作業道の整備を行う事業に国・県と協調して嵩上げ補助する。
森林環境譲与税基金利子積立金	森林環境譲与税基金の利子積立金	1	基金10/10	
竹林整備事業費補助金	荒廃した竹林整備を実施する森林組合等に、費用の一部を助成する。 事業量：0.2ha 補助金額：734千円×8/10=588千円 【歳入】竹林整備事業費補助金 588千円	588	県10/10	

森林環境譲 与税基金積 立金	国から町へ交付される森林環境譲与税を基金へ積立。	18,086	単町	
林業従事者 雇用促進給 付金制度交 付金	林業事業者へ就業を希望する研修生向けの給付金制度を創設し、林業アカデミーを卒業後5年間、中部管内の林業事業者（1事業者）に勤務することを条件に就学時給付金を交付します。 事業費 1名40千円×12ヵ月=480千円	480	基金10/10	
	合計	38,876		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	203	事業名	水産振興対策事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	農林水産課		担当係	農林水産振興係			
予算区分	款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	目	1 水産総務費	
まちづくりビジョン	(4) 魅力ある産業が生み出す地域経済好循環のまちづくり			① 農畜水産物の生産振興と一次産業の担い手育成			
	重点事業	次世代につなげる産業と「食」が広げる新たな魅力づくり					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	33,852	0	22,844	1,000	0	10,008	企業版ふるさと納税地方創生基金繰入金 1,000千円	
前年度予算額	37,260	(比較：△3,408)			前々年度決算額		9,021	(比較：24,831)
トータルコスト	36,796	一般職人件費					会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的(なんのために)	水産業の振興を図るため、県事業の負担拠出、同組合員の資金利子補給、共済掛金の負担軽減等を支援する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○持続可能な漁業を推進するため、放流活動の支援を継続して行うことが必要。 ○漁業の担い手及び指導者への支援を継続して行うことが必要。			
細事業等	内容	予算額(千円)	財源内訳	前年度との変更点
漁業近代化資金利子補給事業補助金	漁業近代化資金借受者の利子を助成し、漁業者の負担を軽減する。 補助率：町1/100以内	253	単町	対象件数の増加による事業費増
漁獲共済掛金軽減事業補助金	赤碓町漁業協同組合員の共済掛金の漁業者負担額の一部を助成することで、漁業者の負担を軽減する。 補助率：町任意1/10	214	単町	
がんばる養殖支援事業費補助金	養殖経費の増加、電気価格の高騰に対し省エネ機器の導入など養殖経営の改善を図る取り組みを支援する。 事業費：48,000千円 補助率：1/2 (県 1/3、町 1/6) 事業実施者：町内養殖業者	24,000	県2/3、町1/3	
栽培漁業地域支援対策事業補助金	赤碓町漁業協同組合が購入するキジハタの放流用種苗費用の一部を支援し、水産資源の確保・増産を図る。 事業費：249千円 ・種苗費：115円/尾×2,056尾×11/12 (県：9/12、町：2/12) ・運送費：12,058円×2/3 (町：2/3)	225	県117、町48	放流種苗数の減による事業費減 (R7:2,645尾→R8:2,056尾)
漁村センター管理費	漁村センターの適切な管理を行う。 ・光熱水費(電気、水道、ガス) 339千円 ・手数料(浄化槽点検、消防用設備点検) 115千円 ・委託料(浄化槽保守) 37千円 ・火災保険料 23千円 ・修繕料 20千円	534	単町	
鳥取県町村水産業振興対策協議会負担金	協議会の運営負担金 75千円	75	単町	
漁業者安全見灯整備事業【新規】	老朽化した見灯の更新を実施するとともに、視界を妨げている蔓植物や周辺の樹木を伐採・除去し、防草シートの敷設による再繁茂防止対策を行うことで、見灯の視認性を確保し、漁業者の安全な航行環境を整備する。 事業費：500千円 補助率：10/10 見灯の更新400千円、樹木伐採、処分50千円、防草シートの購入設置40千円、寄付者名入りプレート作成、設置10千円	500	基金10/10	
漁業研修事業補助金	新規漁業就業希望者に対し、漁業技術や経営方法を習得するための研修を行う際に必要となる指導経費、研修手当、研修用具費、通勤手当等の助成を行うことで漁業への就業促進を図る。	7,053	県：研修手当2/3、指導費以外10/10、	研修生の人数増による事業費増(2名→3名)

	事業費10,191千円（県費：6,363千円、町費：690千円） 雇用型研修：3名（新規）		町：指導費用1/2					
ウニの身入り改善実証事業補助金【新規】	ブロッコリーの芯などの未利用資源をウニの餌として活用し、身入り改善の効果を検証し、効果が確認できれば、漁業者への導入・普及につなげることで、地域水産業の収益向上を図る。 事業費：500千円 補助率：10/10 給餌用海藻ブロック・餌料 300千円、設置・管理作業費100千円、調査備品50千円、報告書作成50千円	500	基金10/10					
持続可能な栽培漁業推進事業補助金	赤碓町漁業協同組合が購入するアワビ・サザエの放流用種苗費用の一部を支援し、水産資源の確保・増進を図る。 事業費：1,155千円 ・サザエ種苗費19.32円×10,000個×（県1/3、町1/6） ・アワビ種苗64.10円×15,000円×（県1/4、町1/6）	498	サザエ種苗：県64、町33 アワビ種苗：県240、町161					
合計		33,852						
指標名	基準年度	基準値	該当する細事業	目標/実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主要品目の年間販売額（梨、ブロッコリー、ミニトマト、白ネギ、スイカ、繁殖和牛、酪農、グランサーモン）	令和5年度	52.5億円	がんばる養殖支援事業費補助金	目標値	53.4億円	54.3億円	55.2億円	56.1億円
				実績値	56.5億円	-	-	-
その他事業内容								

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	667	事業名	現年発生農地災害復旧事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	1 現年発生農地災害復旧費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	20	0	0	0	0	20		
前年度予算額	20	(比較：0)			前々年度決算額		4	(比較：16)
トータルコスト	1,492	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費 (人)	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した農地について、国庫補助を受け復旧を行うことで、農業の維持を図り、あわせてその経営の安定に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○災害発生時、速やかに対応可能な体制作りが必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
その他事務費等	災害発生時の査定設計書作成に必要となる図面用紙等に使用する。	20	単町	
	合計	20		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	354	事業名	現年発生農業用施設災害復旧事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	2 現年発生農業用施設災害復旧費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	20	0	0	0	0	20		
前年度予算額	20	(比較：0)			前々年度決算額		2,788	(比較：△2,768)
トータルコスト	1,492	一般職人件費		1,472 (0.2人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した農地について、国庫補助を受け復旧を行うことで、農業の維持を図り、あわせてその経営の安定に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○災害発生時、速やかに対応可能な体制作りが必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
その他事務費等	災害発生時の査定設計書作成に樋長となる図面用紙等に使用する。	20	単町	
	合計	20		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	669	事業名	現年発生農業用施設小災害復旧事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	2 現年発生農業用施設災害復旧費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	900	0	0	0	0	900		
前年度予算額	900	(比較：0)			前々年度決算額		863	(比較：37)
トータルコスト	1,636	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した農地について、農業の維持を図り、あわせてその経営の安定に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○災害発生時、速やかに対応可能な体制作りが必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
琴浦町農業用水緊急確保支援補助金	用水路として使用している水路の掘削、修繕に対する補助金	900	単町	
	合計	900		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



一般会計

1 基本情報

事業番号	668	事業名	現年発生林道災害復旧事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	目	3 現年発生林道災害復旧費	
まちづくりビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			① 自助・共助・公助による災害に強いまちづくり			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	20	0	0	0	0	20		
前年度予算額	20	(比較：0)			前々年度決算額		2,589	(比較：△2,569)
トータルコスト	756	一般職人件費		736 (0.1人)			会計年度職員人件費	(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	自然災害により被災した林道について、国庫補助を受け復旧を行うことで、農業の維持を図り、あわせてその水源涵養機能等を有する森林の保全に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○災害発生時、速やかに対応可能な体制作りが必要。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
その他事務費等	災害発生時の査定設計書作成に必要となる図面用紙に使用する。	20	単町	
	合計	20		
その他事業内容				

令和8年度 事業説明書



船上山発電
所管理特別
会計

1 基本情報

事業番号	1244等	事業名	船上山小水力発電所施設管理運営事業		事業区分	□新規 ■継続	
担当課	農林水産課		担当係	農村整備係			
予算区分	款	1 電気事業費用	項	1 営業費用	目	1 水力発電費	
まちづくり ビジョン	(5) 安心・安全な暮らしを守る持続可能なまちづくり			③ 再生可能エネルギーの利活用による脱炭素社会への転換			

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	予算額	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	26,457	0	0	26,457	0	0	売電収入 20,280千円 前年度繰越金 6,000千円 基金利息 177千円	
前年度予算額	26,679	(比較：△222)			前々年度決算額	21,282	(比較：5,175)	
トータルコスト	27,929	一般職人件費			1,472 (0.2人)	会計年度職員人件費		(人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	土地改良施設に再生可能エネルギー発電装置を設置する等の農村地域の再生可能エネルギー活用を積極的に導入し、土地改良施設の維持管理費の削減を図る。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○「小水力発電施設の管理に係る発電事業会計の手引き」や「電気事業経営戦略」に基づいて、建設改良積立等適切に基金を積み立てる。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
発電所点検 委託業務	船上山ダムを水源に発電所を運転するため、運営に係る日常、緊急点検を船上山ダムの操作受託を受けている東伯地区土地改良区連合へ委託する。	4,233	売電収入	
電気保安業 務委託業務	自家用電気工作物における点検を中国電気保安協会へ委託する。	543	売電収入	
発電施設年 次点検委託 業務	推奨更新時期が到来した発電機器の更新を行い、不測の故障による長期発電停止期間を防ぐ。	744	売電収入	
積立金	基金（欠損調整、災害準備、建設改良、修繕積立）への積み立てを行う。	4,439	売電収入、 基金利息	
消費税納付	令和7年度の決算確定後に消費税申告納付を行う。	1,500	売電収入	
繰出金	一般会計に繰り出し、発電所建設に係る起債償還や土地改良負担軽減補助金の財源へ充当する。	7,345	売電収入、 前年度繰越 金	
その他事務 費等	流水占用料、NTT回線使用料、火災保険等。	1,653	売電収入	
予備費	予期せぬ事態や不測の支出が発生した場合に対応する。	6,000	売電収入	
	合計	26,457		
その他事業内容				